

各 位

上場会社名 エムケー精工株式会社
 代表者 代表取締役社長 丸山 永樹
 (コード番号 5906)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 小林 文彦
 (TEL 026-272-0601)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年3月21日～平成21年9月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,100	80	60	40	2.76
今回発表予想(B)	8,764	198	123	67	4.66
増減額(B-A)	△336	118	63	27	
増減率(%)	△3.7	147.5	105.0	67.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	8,809	78	42	27	1.89

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年3月21日～平成21年9月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,550	200	160	100	6.89
今回発表予想(B)	8,110	249	237	207	14.28
増減額(B-A)	△440	49	77	107	
増減率(%)	△5.1	24.5	48.1	107.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	8,311	182	231	233	16.11

修正の理由

当第2四半期累計期間は、昨年来の世界経済不況の影響が続き、当社グループも厳しい経営環境下であり、中でも設備投資、個人消費に影響を受ける事業であるオート機器事業、生活機器事業における販売は伸び悩みを余儀なくされ、売上高につきましては予想を下回りました。

一方、収益面におきましては、期首の段階で想定していた価格レベルに対して、仕入原材料・部品及び原油にまつわる費用などの価格が比較的落ち着いていたことと、生産合理化をはじめとする効率化及びグループ挙げての経費削減努力が奏功して予想以上の成果を収めることができました。

なお、通期業績予想につきましては、今後の先行き見通しが一段と不透明な状況であり、需要の低迷が懸念されますことや、仕入原材料・部品及び原油の市況高騰の懸念が払拭できないなど不安定要素も多くありますので、平成21年5月7日付「平成21年3月期決算短信」で公表した通期予想は変更しておりません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる場合があります。

以 上